



## 後期がスタートしました！

わずか6日間でしたが、秋休みはいかがお過ごしだったでしょうか。9月20日（火）、子どもたちの元気な声が学校に帰ってきました。後期のスタートです。始業式では、校長先生から子どもたちに向けて次のような話がありました。

皆さん、お早うございます。今日から後期が始まりました。前期の学習を振り返り、後期の目標は決まりましたか？後期も充実したよりよい学校生活を創り出していきましょう。

後期の始まりは、教育実習の始まりと重なります。皆さんも楽しみにしていることだと思います。そこで、今日は児童の皆さんにも、実習生の皆さんにも、聞いてほしい実際にあったお話をします。

その先生が5年生の担任になった時、一人、服装が汚れていて、少しだらしない少年がいた。ある時、少年の1年生からの記録が目にとまった。「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。勉強もよくできる。」とある。2年生になると、「母親が病気で世話をしなければならず、時々遅刻する」と書かれていた。3年生では、「母親の病気が悪くなり、疲れていて、教室で居眠りする」。3年生の後半の記録には、「母親が亡くなり、とても悲しい毎日」とあり、4年生になると、「父は生きる意欲を失い、子どもにきつくあたる」。先生の胸に激しい痛みが走った。放課後、先生は少年に声をかけた。「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない？分からないところは教えてあげるから。」少年は初めて笑顔を見せた。それから毎日、少年は教室で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手を挙げた時、先生に大きな喜びが湧き起こった。クリスマスの午後だった。少年が小さな包みを先生の胸に押しつけてきた。後で開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。雑然とした部屋で独り本を読んでいた少年は飛んできて、先生の胸に顔を埋めて叫んだ。「ああ、お母さんの匂い！今日は素敵なクリスマスだ。」6年生で先生は少年の担任ではなくなった。卒業の時、先生に少年から一枚のカードが届いた。「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で一番素晴らしい先生でした。」それから6年。またカードが届いた。「明日は高校の卒業式です。僕は5年生で先生に担任してもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することができます。」10年を経て、またカードが来た。そこには先生と出会えたことへの感謝と、患者の痛みが分かる医者になると記され、こう締めくくられていた。「僕はよく5年生の時の先生を思い出します。あのままだめになってしまう僕を救ってくださった先生を、神様のように感じます。大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は、5年生の時に担任してくださった先生です。」そして1年。届いたカードは結婚式の招待状だった。「母の席に座ってください」と一行、書き添えられていた。

（「心に響く小さな5つの物語」より 一部略）

人は人との出会いで人生が大きく変わることがあります。純粹に物事を考え、向き合える子供の時ほど、その出会いの影響は大きいでしょう。児童の皆さんには、そんなよい出会いの機会があることを願っています。また、実習生も含め、わたくしたち大人は、子供にいい影響を与えられる人になりたいものです。



続いて、後期の目標の発表では、2年1組 澤本彩佳さん、3年2組 本多結優空さんの2名が、後期に頑張ることや思いを発表しました。聴きやすい声で、しっかりと発表する姿が見られ、発表後は、各教室から拍手が聞こえてきました。

後期も、コロナ禍での教育活動となりますが、子どもたちの思いや願い、目標が達成できるように、みんなで頑張っていきたいと思います。

## 後期教育実習①がはじまりました！



後期スタートと共に、後期教育実習①も始まりました。始業式同様、出会いの式もリモートでの実施です。実習生に向けて、6年1組 田口幸翔さんが全校を代表してあいさつをしました。8日間という短い期間ですが、感染症対策を講じながら実習生との交流を深め、実習生と共に学ぶことを子どもたちの成長につなげていきます。



## 6年1組の家庭科！



9月22日（木）の5校時、6年1組が家庭科で「いためておかずをつくろう」の学習を行いました。今回は、ほうれん草とたまごのいためものを実際に調理しながら、変化や様子を観察しました。感染症対策のため、試食は行いませんでした。（子どもたちは、つまみ食いをしそうな勢いの顔をしていましたが、みんなしっかり約束を守りました。）観察する際、時間をストップウォッチで測る予定でしたが、子どもたちのアイデアをいかして、調理の様子をタブレットで動画を撮影しました。自分たちでよりよい方法を考えるところがとても素晴らしいです。タブレットのよりよい活用の仕方の一つにもなりました。



プウォッチで測る予定でしたが、子どもたちのアイデアをいかして、調理の様子をタブレットで動画を撮影しました。自分たちでよりよい方法を考えるところがとても素晴らしいです。タブレットのよりよい活用の仕方の一つにもなりました。

## 4年2組の係決め！



9月22日（木）の5校時、4年2組は、新しい係や当番の役割決めを行いました。自分たちで進行し、どんな係が必要なのか考えたり、取り組んでみたい係の分担を決めたりしていました。素晴らしいのは、係によって希望の偏りが出た時に譲り合うなど、みんなが納得できるように話し合っていたことです。決まった後、早速、当番活動の引継をしました。



## 1年生「やぶいたかたちから・・・」



1年生は、図工で「やぶいたかたちから・・・」という学習をしています。紙を破いて、できた形から、創造して作り出す活動です。約束は、①手で破ること②ゆっくり、ていねいに破ることです。今回は破りやすい新聞紙を材料に破りました。破った形から、生き物や食べ物などに見立てて、思い思いに楽しく創りました。

